

「信徒の友」の日毎の糧（聖書日課）2013年3月25日の  
イザヤ書5章の7節はなぜフリガナが付けられているので  
すか。

当該個所は以下の通りとなっています。

「イスラエルの家は万軍の主のぶどう畑 主が楽しんで植  
えられたのはユダの人々。主は裁き（ミシュパト）を待って  
おられたのに 見よ、流血（ミスパハ）。正義（ツェダカ）  
を待っておられたのに 見よ、叫喚（ツェアカ）。」

上記のようにわざわざフリガナが付されていますが、これは  
響きの似たヘブライ語を対比しての字訳で意味は以下の通  
りです。

- |   |       |           |               |    |
|---|-------|-----------|---------------|----|
| 1 | ミシュパト | מִשְׁפָּט | judgement     | 裁き |
| 2 | ミスパハ  | מִשְׁפָּח | bloodshed     | 流血 |
| 3 | ツェダカ  | צְדָקָה   | righteousness | 正義 |
| 4 | ツェアカ  | צְעָקָה   | outcry        | 叫喚 |

主が正義と平和のイスラエルを期待して楽しんで植えられたイスラエル。それが、響きの似た言葉を並べることにより、主の意に反し、まったく似て非なるものに変質してしまった落胆の程。それを表現しているのではないかと思われま  
す。なお、この言葉は主イエスが十字架に架かれる前に、民を嘆かれつつ述べられた、マタイによる福音書 21 章 33 節~46 節「ぶどう園と農夫」のたとえを彷彿とさせます。